2025年度 事業活動計画書

1. 委員会名

大学教育委員会

2. 趣旨

- ①教育内容（カリキュラム）、方法、評価の調査研究
- ②教員組織、教員の質・能力向上、教育能力・施設設備の調査研究
- ③教育に関するセミナー、ワークショップ等の実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 安酸 史子（日本赤十字北海道看護大学）
- 江川 隆子（関西看護医療大学）
- 太田 勝正（東都大学）
- 小原 泉（自治医科大学）
- （委員）
- 前田 樹海（東京有明医療大学）

4. 2025年度事業活動計画

1) 研修会の開催

(1) 新任教員向け研修会「大学教育とは」

目的：私立大学の教職員として基本的知っておかなくてはならない考え方や、教育課程、私立大学法改革に至る経緯や置かれている現状について学ぶ

講師：島袋 香子 氏

日時：2025年8月2日（土曜日）

開催方法：(当日) 会場開催と Zoom ウェビナーを用いたライブ配信（講演のみ）
(後日) オンデマンド配信（午前の講演のみ）

プログラム：

(午前の部)

10:00～10:10 開会挨拶

10:10～11:10 講演「私立看護系大学を理解する」

講師：島袋 香子 氏（北里大学 名誉教授）

11:10～11:20 質疑応答

11:20～12:20 休憩

(午後の部) ※午後の部は会場開催のみ

12:20～13:20 グループワーク

13:20～14:15 発表・質疑応答

14:15～14:20 閉会挨拶

(2) 喫緊の課題についての研修会「看護系大学における特別な支援を必要とする学生への教育支援の実際」

目的：特別な支援を要する発達障害傾向の看護学生の特徴や具体的な教育支援の実際を学び、教職員に必要な能力を向上させるための示唆を得る。

講師：西村 優紀美 氏（元富山大学 保健管理センター 准教授）（予定）

ファシリテーター：日高艶子（聖マリア学院大学）、小浜さつき（聖マリア学院大学）、
北川明（順天堂大学）（予定）

日時：2026年1月の土曜日

開催方法：(当日) 会場開催と Zoom ウェビナーを用いたライブ配信（講演のみ）
(後日) オンデマンド配信（午前の講演のみ）

プログラム：未定

2) 教員応募者の質と能力にかかわる情報についてのアンケート調査

目的：現行の個人調書と業績調書に追加できる（追加は任意）自己申告表を検討する。

対象：当協会の役員

方法：メールに添付／リンクしたオンラインアンケート（Google form）

主な調査内容：採用時に是非把握したい情報、および、収集が許される情報の範囲など

5. 今後の展望（2025年度～2026年度）

18歳人口の減少、看護を希望する学生の減少、学力不足の学生や配慮を要する学生の増加など看護学教育を取り巻く社会の変化が激しい中、長期的な事業活動は具体的な計画を立てにくい状況にある。

情報化の変化への対応や新カリキュラムの運用に関する情報を共有し、教育方法の工夫や開発による「教育の質」の更なる向上のための長期計画へと発展させていく年度としたい。又、本協会の会員校である私立大学のもつ多様なニーズを把握し、私学の特色を生かした事業を企画していく必要がある。

2025年度 事業活動計画書

1. 委員会名

研究活動委員会

2. 趣旨

- ①教員による研究費獲得の向上、学術研究の推進に関わる活動
- ②研究助成と研究ネットワークづくり
- ③研究に関するセミナー、研修会等の実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 亀井 智子（聖路加国際大学）
- 小松 万喜子（中部大学）
- 前川 幸子（甲南女子大学）

4. 2025年度事業活動計画

1) 研究助成公募および審査

研究助成事業規程、研究助成事業規程施行細則、研究助成募集要項に則って公正かつ迅速に研究助成事業を運営する。

- ・看護学研究奨励賞：20件程度
- ・若手研究者研究助成：15件程度
- ・国際学会発表助成：10件程度

公募期間：2025年4月1日～5月20日

選考会議：7月13日（日）Web会議

2) 学術研究および学術研究体制に関する事業

研究セミナー

①若手研究者研究助成成果報告

15分程度の音声付パワーポイントを土日を含む3日間、本協会ホームページに掲載し、質問はメールで受け付ける。

②講演

テーマ：EBNリサーチエビデンスと実装研究

目的：「EBP・EBNによる研究成果をどう実装していくのか」という課題に対して、実装研究とは何か、問いの立て方、ステークホルダーアセスメント、データ収集など、実装研究にとって重要な視点を学ぶ。

日時：2025年9月13日（土）13時00分～15時10分

開催方法：Zoomウェビナーによるライブ配信とオンデマンド配信

講師：片岡 弥恵子 氏（聖路加国際大学大学院）

プログラム：

- 13:00～13:10 開会挨拶
- 13:10～14:40 講演
- 14:40～15:00 質疑応答
- 15:00～15:10 閉会挨拶

5. 今後の展望（2025年度～2026年度）

- ①会員校における看護学研究者の育成のために適正で公正な研究助成事業を推進する。
- ②会員校の教職員のニーズに沿ったセミナーの開催について検討し、研究セミナーを開催する。

2025年度 事業活動計画書

1. 委員会名

国際交流委員会

2. 趣旨

- ①看護における教育、学術及び文化の国際交流を通して、将来国際的に関連機関との連携協力及び援助に繋がるための方策の調査研究
- ②看護界の動静と看護学教育の国際交流の現状と将来についての講演会等の実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 櫻井 しのぶ（順天堂大学）
池松 裕子（日本赤十字九州国際看護大学）
（委員）
中村 敦子（日本赤十字広島看護大学）
若林 律子（順天堂大学）

4. 2025年度事業活動計画

1) 研修会の開催

テーマ：「在日外国人や来日外国人への看護」（仮）
内容：病院の現状や課題、看護師に求められる力などについて
開催日時：未定
開催方法：Zoom ウェビナーによるライブ配信とオンデマンド配信
講師：調整中

2) 新規に国際交流活動を行うための助成事業(100万円×4件)

<スケジュール>

応募期間：5月9日～6月9日
審査期間：6月12日～6月22日
事業開始：7月初旬以降
事業報告：2026年3月末日

5. 今後の展望（2025年度～2026年度）

国際的に活躍できる看護人材の育成にむけた看護学教育のあり方について、情報交換と交流を推進し、グローバル社会のニーズに対応する国際看護教育のあり方及びカリキュラムの体系化について議論を深める。また、地域や医療現場だけではなく、大学においても多様な文化を背景に持つ教職員と相互理解を深め、共に働くために必要な人材育成の展望に向けた議論を進めていく。

2025年度 事業活動計画書

1. 委員会名

大学運営・経営委員会

2. 趣旨

- ①私立看護系大学の振興に必要な国、地方公共団体又は民間からの補助金、寄付金、その他の支援が可能になるような実態調査・分析
- ②大学運営・経営の向上に繋がる事業を展開するための方策の調査

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 井上 智子（国際医療福祉大学）（※2025年7月28日定時社員総会終結時まで）
岡田 みどり（川崎医療短期大学）
竹田 恵子（川崎医療福祉大学）
永田 智子（慶應義塾大学）

4. 2025年度事業活動計画

1) 研修会

テーマ：効果的な学生募集と私立大学における教育の質保証

目的：本研修会では、私立看護系大学における効果的な学生募集の在り方や、教学マネジメントの視点を含めた教育の質保証の考え方や、最新の入試動向の理解を深めることを目的としています。各大学が自学の特性や強みを活かしながら、持続可能な運営と質の高い教育の両立を図っていくためのヒントを得る機会とすることを目指します。

開催日時：2025年10月20日（月）

開催方法：Zoom ウェビナーによるライブ配信とオンデマンド配信

講師：押田 浩幸 氏（株式会社進研アド 営業本部 東京支社長）

飯島 隆介 氏（株式会社リクルート リクルート進学総研 研究員）

菱沼 典子 氏（一般財団法人 日本看護学教育評価機構 代表理事）

プログラム（予定）：

13:30～13:40 開会

13:40～14:25 講演1「入学者の学力や大学の規模、地域性など大学の個別性も考慮した入試動向」（仮）

講師：押田 浩幸 氏

14:25～14:35 質疑応答

14:35～14:45 休憩

14:45～15:30 講演2「大学入試分析～学校推薦型入試・総合型入試の動向を中心に」（仮）

講師：飯島 隆介 氏

15:30～15:40 質疑応答

15:40～16:25 講演3「看護学分野別評価 私立大学の評価を中心に」（仮）

講師：菱沼 典子 氏

16:25～16:35 質疑応答

16:35～16:45 閉会挨拶

2) 4年制大学の教育等に関する実態調査の実施と報告書の作成（JANPU との合同）

調査期間：2025年10月～12月（予定）

3) 短期大学の教育等に関する実態調査の実施と報告書の作成

調査期間：2025年10月～12月（予定）

5. 今後の展望（2025年度～2026年度）

- 1) 4年制大学および短期大学の教育・危機管理等に関する実態調査結果から、4年制大学および短期大学の運営・経営改善に関する方策を提案する。
- 2) 大学運営・経営に関する研修会を企画し、学校法人の経営戦略等についての情報を発信する。

2025年度 事業活動計画書

1. 委員会名

渉外委員会

2. 趣旨

- ①本法人の発展のため外部の組織に働きかけ、看護教育並びに看護専門職としての充実・発展に必要な国の制度や法令、文教行政や予算、高大連携についての確かな情報収集と分析・整理
- ②文部科学省、厚生労働省関係、日本学術会議をはじめ、日本看護系大学協議会、日本私立大学協会、日本私立学校振興・共済事業団、中央教育審議会、大学設置・学校法人審議会等諸機関の活動状況の把握をし、必要な提携・協力及び支援活動を企画・実施
- ③啓発活動のためのセミナーの実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 原 玲子（日本赤十字東北看護大学）
荒木 暁子（東邦大学）
鎌田 佳奈美（摂南大学）
洪 愛子（神戸女子大学）
櫻井 しのぶ（順天堂大学）

4. 2025年度事業活動計画

- ①文部科学省、厚生労働省、日本学術会議をはじめ、日本看護系大学協議会、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、日本私立学校振興・共済事業団、中央教育審議会、大学設置・学校法人審議会等の活動状況の把握をし、現状への認識及び今後の方針について理事会に報告する。
- ②関係諸団体と関係を深め、情報交換、意見交換するとともに、連携・支援に向けた働きかけをしていく。
- ③看護の問題、看護政策の実現に向けて、政府、所轄省庁等へ要望書を提出する。
- ④日本看護系大学協議会の高等教育行政対策委員会及びAPN グランドデザイン委員会への参画を継続する。
- ⑤会員校の抱える問題について関係諸団体と協働し実態把握に努め、文部科学省、厚生労働省等関係省庁と情報を共有し検討する。

5. 今後の展望（2025年度～2026年度）

関係諸団体の活動状況の把握をさらに進め、必要な提携・協力及び支援活動を企画・実施に移す。

2025 年度 事業活動計画書

1. 委員会名

広報委員会

2. 趣旨

- ① 本法人の目的の達成に寄与するため会報・その他刊行物の発行
- ② 会員校への情報伝達及び会員校間の情報交換
- ③ 本法人の活動の外部への PR のためのホームページ企画運営

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 鎌田 佳奈美（摂南大学）
宮城 由美子（福岡大学）

4. 2025 年度事業活動計画

1) 会報第 53 号・54 号の発刊と第 55 号の企画

(1) 会報第 53 号は 2025 年 5 月上旬に発刊

- ① 2024 年度事業活動報告
- ② 会員校の特色ある取り組みの紹介
- ③ 理事会報告
- ④ 2025 年度助成事業について
- ⑤ 事務局からのお知らせ

(2) 会報第 54 号は 2025 年 11 月上旬に発刊

- ① 会長挨拶
- ② 新規会員校紹介
- ③ 社員総会付帯事業講演会の内容
- ④ 会員校の特色ある取り組みの紹介
- ⑤ 2025 年度助成事業の選考結果報告
- ⑥ 役員一覧
- ⑦ 社員総会・理事会報告
- ⑧ 事務局からのお知らせ

(3) 編集

原稿の依頼や原稿の受取は原則メールで行う。

(4) 配布部数

会員校：1 校 4 部
関係団体：約 130 部

(5) 会報第 55 号の企画

2026 年 5 月上旬の発刊に向けた記事構成等の企画

2) 2024 年度年次報告書の発刊

2025 年 7 月初旬に発刊

3) ホームページ

- ・ 年に 4 回ホームページの保守管理業者との会議を行い、ホームページの利用状況を定期的に分析し現状を把握する。出された課題に対する改善策を検討しホームページの改善に努める。
- ・ トップページに会員校の特色ある取り組みを掲載するコンテンツを作成する。

4) 看護の魅力を生社会、受験生、保護者などに伝える PR 活動

5. 今後の展望（2025年度～2026年度）

1. HPに関する定期的な業者との打ち合わせ会議を継続すると同時に、迅速かつ適切な情報配信を行うことでHPの充実を図る。
2. 会報発行（年2回）を継続すると同時に、さらなる紙面の充実を図る。
3. 協会全体の計画と方針を基に看護の魅力を社会に発信するための広報活動の検討を行う。

2025年度 事業活動計画書

1. 委員会名

将来構想検討委員会

2. 趣旨

①本法人の役割と機能の強化に向け、私立大学としての課題と看護学教育及び看護学研究の具体的な課題の明確化と今後の方向性について具体的方策の提案

3. 担当理事および委員（○：委員長）

○荒木 暁子（東邦大学）
洪 愛子（神戸女子大学）
鎌田 佳奈美（摂南大学）
櫻井 しのぶ（順天堂大学）
原 玲子（日本赤十字東北看護大学）

4. 2025年度事業活動計画

本協会の役割と機能の強化に向け、私立看護系大学がもつ具体的な課題の明確化と今後の方策について方向性を提案する。

- 1) 各委員会および外部有識者*等にヒアリング調査を行い、協会のあり方について検討する。
*外部有識者については、未定。委員会等のヒアリングを経て検討予定。

【活動計画】

2025年6～7月 各委員長へのヒアリング

1) ヒアリング内容

- ・現在・今後の私立看護系大学の課題
- ・私立看護系大学協会に期待する使命や活動、など

2) 方法

Zoomによる。生成AIを活用した議事録作成。

※ヒアリングに先立ち、以下の資料をご精読いただく（現時点でのものであり、変更あり）。

- 1) 我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）
[20250221-mxt_koutou02-000040400_2.pdf](#)（保護）
- 2) 2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議
第1回検討会議における主な意見と今後の検討の方向性（案）（第2回資料）
[20250424-mxt-sigakugy-000041754_08.pdf](#)（保護）

2025年8～10月 ヒアリング結果まとめ～分析～提案～委員へのフィードバック～意見聴取

ヒアリングの結果をまとめ、分析、提案の形でまとめ、委員へフィードバックし、意見集約する。

2025年11月 私立看護系大学協会の将来構想（2025年版）として理事会審議

5. 今後の展望（2025年度～2026年度）

看護学基礎教育における私立看護系大学の役割は益々重要となっている。会員校は、看護の質向上や人材育成だけでなく、地域住民の健康支援を行う役割を担っており、新興感染症の流行や災害等の発生時には住民の健康危機に対応すべく尽力している。会員校の教育の質を維持向上し、更なる連携と協力を推進すべく求められる本協会の事業活動を検討する。

2025 年度 事業活動計画書

1. 委員会名

地区活動委員会

2. 趣旨

- ①地区活動を通じたネットワークづくりにより、私立看護系大学の協働体制を進め、安定した看護学教育の推進
- ②私立看護系大学が共有する課題に協働して取り組む活動への助成事業の実施
- ③看護学の発展を担う人材を確保する活動のための助成事業の実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 篠崎 恵美子（人間環境大学）
池田 恵美子（四国大学）
（委員）
坂本 真理子（愛知医科大学）（※2025年7月28日定時社員総会終結時まで）
坂 亮輔（人間環境大学）
渡部 光恵（四国大学）

4. 2025 年度事業活動計画

1) 地区活動プロジェクト

会員校の地区における協働を進め、看護学教育の発展に寄与する新たな活動の在り方を探索することを目的とし、各地区の会員校の協働活動に助成を行う。

<スケジュール>

- 応募期間：5月9日～6月16日
審査期間：6月12日～6月22日
事業開始：7月初旬以降
事業報告：2026年3月末日

2) 地区会議の開催

当番校（四国大学）が企画を担う。会議の前にあらかじめ問題提起し、出された諮問について、各校が回答を準備して意見を交換する。共通のテーマについて他大学の見解を具体的に聞き共に考える。

5. 今後の展望（2025 年度 ～ 2026 年度）

活動の透明性や会員校の参加意欲の向上につなげるため、地区活動プロジェクトの成果を全国的に共有できる情報発信の仕組みについて検討する。また、将来的に複数の地区が連携した活動を見据えた広域連携の推進を検討する。